

# 善正寺だより(一一八)

合掌 お変わりございませんか？

今年も七月二日のお施餓鬼法要から始めましたお盆行事も八月二十四日に行われる横須賀龍本寺様の施餓鬼法要でやっと区切りができました。始まる頃は、今回のお盆行事無事に全予定を済ますことが出来るか？近年はコロナウイルス感染症があり、益々不安でありましたが、令和五年も無事に済ませることが出来ました。ご協力ありがとうございました。また今年は今までの酷暑で、天候も不順で、晴れていたけど、急に土砂降りとなったりして、天候が読めず、自転車で出て、びしょ濡れになることもあり、予測できなくなっていました。この酷暑がこれから毎年になるのでしょうか？ちよつと昔は、気温が二十五度を超えると、暑い！三十度が一日でも出るとキツイと感じていた頃が懐かしく思います。今は三十度は当たり前、人の体温以上になるのも一日二日でなく、連日記録更新の報道が当たり前になりました。仏様の教えに「あらゆる事象はつながり、成立、成果を生む。それに伴い『報い(むくい)』を受ける。それは等しく備わる」よく心しておきなさいと・・・人間は良かれと思つて、日々の研鑽を積み、あらゆるものを創造してきました・・・一例ですが、気候を変化させ、本来住みよき事を目指した事が、気温上昇を生み、災害を受ける・・・今までは、「やがて報いを受けるぞ・・・」から「報いの時がやってきた。始まってしまった・・・」と変化してきたのではないかと感じております。昭和・平成で通常であったものが、令和になりそれが出来ない、

通常ではない事へと変化しています。

「お盆行事」をとつても、この時季「お盆」というものは、家族が揃い、お寺にお参りして、先祖を敬い、今ある事に感謝し、墓参する・・・でした。お盆は暑いのは当然。しかし今は、「この異常気象で、外に出るのは危険な気温、コロナウイルス感染症も制度が変化して、常態化しているものもの不要不急な外出は控えましょう」となり、「体調を壊すといけないので、無理なお参りは避けてください」となつてしまいました。今までにない、「令和のお盆行事」を提案していかないといけないのではと思案します。例えば、気温が体温以上になりそうなので、「施餓鬼法要は、五月にします。」とか、「七・八月は暑いので、お経周りは、彼岸の時季にします。」とか・・・変えざる負えないのか・・・？と感じております。今後、思案して提案し、変更してまいりたいと思います。

【暑いのに合っていることもあります】



前回東京の長元寺住職様から頂いたレモンの木を紹介しました。結構実を成らせています。

昔、祖父祖母がこの寺にやってきた時、食料になるものを植えようと、梅、竹、銀杏、柑橘系、等を境内に植えました。しかし、柑橘系のモノは気候が合わず、数回失敗したそうです。原因は気温が低すぎて、育成しなかったそうです。そのことを祖母から聞いて、ここは柑橘系が育たないと信じておりました。しかし気候が変わり、暖かくなると、柑橘系の植物も育成可能という事に変化してきているようです。



百日紅も今回はよく奇麗に花をつけました。元気に咲いております。これも気候に合っているのでしょうか。

【タイミングが合わず申し訳ないです】

基本一人となり、対応をしております。何かとご不自由をおかけしております。母親は八十八才となり、自分の事は出来るのですが、留守番が出来なくなりました。用事で出かける折は、張り紙に、不在を伝え、携帯電話番号を表示して出ます。しかし、携帯電話も外出していると、すぐに出来ない事が多く、失礼することが多くあります。その場合、大変恐縮ですが、伝言メッセージを必ず入れてください。お名前だけ

でも吹き込んでいただくと、誰からだ特定できません。また朝、八時過ぎに本堂から寺務所に降りてきます。そして朝食を取っております。九時過ぎくらいまでにご連絡いただくと、比較的対応が可能です。何卒よろしく願います。●前回、お盆行事の案内で、三軒ほど不備があり、お手紙を発信したはずなのに、連絡がされていませんでした。ご連絡を頂き、ご案内を発信した事がございました。落ちの無いように気をつけておりますが、連絡が届かない等、お気づきの点がございましたら、ご連絡を頂きますようお願いいたします。

【護持会の会計監査会致しました】



令和5年7月29日、護持会会計監査会を開きました。適正に処理頂いていることを確認していただきました。

この折に監査していただいた。会計報告書同封します。ご確認ください。お寺の火災保険料、宗務院課金支払い、等に活用させていただきます。今後もしよろしく願います。まだ未加入の方は、入会ご検討下さい。●彼岸行事お待ちしております。お塔婆供養もお受けします。ご不自由をおかけします。よろしく願います。善正寺住職拝